



# シーダ・ウォーカー



## 時事寸考

シーダ・ウォーク施設長、医師の吉田です。新型の新型コロナウイルスが出てきてややこしいので今後はCOVID-19と書くことにします。COVID-19の治療には現在2つの方向があります。1つ目は早期にウイルスの増殖を抑えて重症化を予防すること、2つ目は重症化例でしばしば暴走している免疫系を制御することです。今回は前者について述べます。

ワクチンは体内で抗体を作り感染を予防しようとするものですが、モノクローナル抗体というものを体外で作って薬として使うことができます。ゼビュディとロナプリーブという製品があり、ともに点滴注射を1回だけします(ただしロナプリーブはオミクロン株には効かないようです)。ペクルリーはウイルスRNAの複製化(RNA依存性RNAポリメラーゼ)を阻害する点滴注射薬で3日間の投与が必要となります。RNA複製阻害にはラゲブリオという経口薬もあり、こちらは5日間の内服となります。内服薬にはさらにパキロビッドという製品もありこちらはウイルスの

プロテアーゼの阻害剤(結局複製できなくなる)です。重症化減少率89%(ラゲブリオは30%)と効果が期待されますが併用できない薬がとても多いです。



パキロビッドパック (ファイザー社)

## 栄養科より今月の一押しメニュー

3月3日ひな祭りの昼食は「彩りちらし寿司・清まし汁・豆乳茶碗蒸し・三色花ゼリー」をご用意します。おやつはひな祭りをイメージした彩りのケーキです。



3月は、筍ご飯や菜種焼き、ミモザサラダなど春らしい献立も登場します。食事からも春の訪れを感じていただければと思います。

## 新型コロナワクチンの3回目接種を開始しました

2月中旬よりロングステイのご利用者を対象に、新型コロナワクチンの3回目接種を開始しました。

前回の夏の接種から半年。皆さん前回とは違い、厚着になっているので、接種部位を出していただくのに一苦労でした。



接種の前には医師により体調確認の問診を行います。



この日は14の方に接種をしました。

1つのバイアル(瓶)から7本分の薬剤が準備できるので、ご利用者を7人ずつのグループに分けて接種をしています。3月1日までに希望されるすべての方の接種が完了する予定です。

## もうすぐ ひな祭り

3月3日の桃の節句に向けて、一足早くシーダ・ウォークの1階ロビーにひな人形を飾りました。

このような時期だからこそ、皆さんが少しでも明るい気持ちになれるように祈りつつ、楽しみながら飾り付けをしました。

7段飾りのひな人形でロビーが華やかになりました。



毎年、これはどこに置くの？これは誰の持ち物？と、わいわい言いながら飾り付けをしています。

シーダ・ウォークは高齢者とご家族を支援する施設です。

- 入所 ①ロングステイ：1か月～  
②ショートステイ：1週間程度
- 通所リハビリテーション (デイケア)

介護老人保健施設 シーダ・ウォーク

杉並区桃井3-4-9 (荻窪消防署 隣) **03-5311-6262**

2022年2月25日発行 vol.176 発行責任者: 吉田晴彦  
編集責任者: 飯田一輝 発行: 社会医療法人河北医療財団  
介護老人保健施設シーダ・ウォーク  
〒167-0034 東京都杉並区桃井3-4-9  
TEL. 03-5311-6262(代) FAX. 03-5311-6180  
<https://kawakita.or.jp/suginami-area/cedar/>



# 管理栄養士は

## 老健でこんな仕事をしています



介護保険では3年ごとに介護報酬改定があります。2021年4月の介護報酬改定では「栄養改善の推進」が重点施策の1つになりました。シーダ・ウォークでは2021年10月より管理栄養士を1名増員し、2名体制でご利用者の食事や栄養に関することをコーディネートしています。

### 給食に関すること

給食委託会社と協力して、**安全で衛生を管理されたお食事**を毎日提供しています。

チェックインの際に、**お食事について確認**をしています。

- ◎食物アレルギーの有無
- ◎治療食（糖尿食・腎臓食等）
- ◎嫌いな食べ物
- ◎食形態（きざみ食・ミキサー食など）



### 今週の献立



季節を感じられる献立を取り入れています。

食事は日々の生活の中の楽しみの1つです。季節の行事に合わせた献立を取り入れたり、毎週の献立表で食材の紹介もしています。



お寿司の日



フロア職員と相談しながら**食事に関するイベント**を行うこともあります。

アイスの日



ケーキバイキング



### 栄養ケア

- ◎性別 ◎年齢 ◎病気の既往
- ◎体格 ◎褥瘡の有無 等を考慮し、

**ご利用者お一人お一人に必要な栄養量を算出**します



食事摂取量・体重の推移をもとに**定期的な栄養の評価**をします



他の職種の職員とも話し合い、**個人に合わせた食形態**を選び、**ご利用者ごとのプラン**を作成します。食欲のない方には、**栄養補助食品**も活用します。

### ミールラウンド（食事観察）

利用者の食事時間に伺い、個人に適切な食形態や食事内容、食事の際の姿勢など食事全体について他職種で検討します。



### 食べ物の差し入れについて

血糖値や塩分のコントロール、咀嚼・嚥下（飲み込み）に問題がなければ、ご利用者のお好きな食べ物を持ち込むことも可能です。

※ただし、餅・団子類はご遠慮ください※



### 「食べること」への支援



#### 嚥下に課題のある方

嚥下（飲み込み）がうまくいかないと、**誤嚥性肺炎**になる危険性があります。嚥下に課題がある方に安全に口から食べることを継続できるよう、食形態やとろみの濃度などを多職種で検討・評価をしています。

「入所してから**食べられるものが増えて**、家にいるときよりも**元気になった**」「**大きな声が出るようになった**」というご家族からの声もいただいています。

#### 胃ろうの方

胃ろうの方も、口から食べるリハビリが順調に進んでいる場合は、医師をはじめとした多職種と協力して経口摂取（食事を胃ろうではなく口から食べる）への移行プランを作成し、口から食べることを支援します。

シーダ・ウォークでは管理栄養士が2名体制になったのを機に、今後は入所の方に加えてデイケアご利用の方への栄養状態に関する評価や、必要時には食事内容のアドバイスなどを行っていく予定です。

また入所中の方が自宅に戻られる際には、食事に関するアドバイスもしています。不安なことがあればご相談ください。